

## 事務事業評価における総括

部 局 名	選挙管理委員会事務局	記入責任者	吉津 誠司
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>選挙管理委員会事務局の業務計画に位置付けた事業では、災害応急対策活動及び庁内共通事務を除く 13 事業のうち、県議会議員及び県知事選挙の管理執行他 5 事業は実績がなく、7 事業についてはすべて S 評価とし、目標値を達成いたしました。</p> <p>参議院議員通常選挙の管理執行については、投票率が 55.99%の結果でしたが、目標値（56.20%）より 0.21 ポイント低かったものの、目標値の 80%以上を達成していることから S 評価としました。</p> <p>投票環境の整備・改善に関する事務については、期日前投票所の増設を行ったため、S 評価としています。</p> <p>直接請求に関する事務については、平成 24 年度以来実施したのですが、条例制定請求署名簿の審査など適正な管理執行を行い、S 評価としました。</p> <p>常時啓発に関する事務については、平成 28 年の参議院議員通常選挙から選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられたことから、茅ヶ崎市明るい選挙推進協議会と連携し、市内中学校や県立高校に出向き、出前授業や模擬選挙を実施し、文教大学の学園祭や秋の市民ふれあいまつりなど各種イベントにおける啓発活動により、若年層の投票率の向上に繋がりを、S 評価としました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>選挙の管理執行に関しては、周到的な事前準備、従事者への事前説明等により概ね事業の指標を達成しましたが、選挙権年齢が 18 歳に引き下げられることなどから、引き続き若年層に重点を置いた啓発活動などを粘り強く実施していきます。</p> <p>参議院議員通常選挙の投票率は、前回（54.37%）を上回り、18 歳と 19 歳を合わせた投票率においては 63.41%と県内でも最も高い投票率でした。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられたことに伴い、引き続き、茅ヶ崎市明るい選挙推進協議会と連携し、出前授業や模擬選挙及び各種イベント等における啓発活度を実施することにより、投票率の一層の向上を図ります。</p> <p>また、国・県の財政状況が厳しい中、選挙執行経費の抜本的な見直しが必要となります。</p>			